



2017 5月 No.32 P.Y.X.I.S ピクシス

発刊者 協同組合阪神商工共済会
尼崎市東難波町5丁目21-7
TEL 06-6481-3131

株式会社 誠和

代表取締役 松本典行

東方
見聞録



株式会社誠和は、元々土木建設業の請負を生業とし、パワーショベルやブルドーザーやダンブカーなどの重機オペレーターを主とした業務で、社名も私が入社した昭和六十年当時は、架裕建設と看板を掲げて業務に勤しんでいました。

昭和六十年当時は、三重県にある産業廃棄物の最終処分場の掘削作業を請負、処分場の建設に従事。

作業をした事が縁で、三重に続いて京都の産業廃棄物の最終処分場の掘削工事も請負。

掘削作業をしながら廃棄物の

埋め立て作業や選別作業、収集運搬などを手伝いながら、業務を務めて、いつの頃からか重機オペレーターから、産業廃棄物処理業に業種が変わり、トラックも購入し収集運搬業へと業務内容も変わっていきました。

業種が変わるとともに、会社自体も変わり、架裕建設を法人化し、有限会社架裕へと改組。

代表取締役を務めていた義兄が、主要取引先の取締役就任したため、平成十二年に有限会社架裕の義兄に代わり代表取締役に就任。

新たな出発のため、翌平成十三年有限会社架裕を解散し誠和商会として事業の再出発。

平成十五年に法人化し、有限会社誠和商会で事業を開始しました。

今までも一般貨物自動車運送事業法、廃掃法の改定、派遣法改定などがあり、法律の順守を最優先とし、会社の体制も変化を続け事業の存続のために対応してきました。

さらに、平成二八年労働者派

遣事業の許可を取得のため、新たに株式会社誠和を設立。同年二月に認可を受け、有限会社誠和商会の主力業務を、株式会社誠和に移し同年四月の新年度より労働者派遣事業所として事業開始。

現在有限会社誠和商会は、新規事業で金属加工を模索検討中。

掘削依頼から始まった主力取引先との付き合いで、業種の変化、会社体制の変化などありましたが、気が付けば三十数年の月日が経過しました。

これからも、法律の改正や、経済の動態等に柔軟に対応し、法律順守を第一に業種及び、会社体制の変化を続け、主力取引先と共に事業の存続と発展に努めます。

まいります。

尼崎市東難波町
4丁目11番5号
06-6481-4068



「商店街」
視察見学会

く豊臣秀長のつくった市街地を、若者が歴史ある町屋の保存と「金魚」の活用で活性化!!
奈良県大和郡山市「やなぎまち商店街」視察会参加く

城下町を建設、現在、大和郡山市の中の市役所を構える近鉄郡山駅周辺は旧市街地と呼ばれるかつての郡山藩の城下町です。



大和郡山市は「金魚」の産地としてその歴史は古く、江戸時代から生産が始まり、日本三大産地に数えられており、全国シェアの50%を占めていた時代もあったようです。

近年は後継者不足や都市化に伴う水質汚濁等の環境悪化などの問題から生産量は減少しているものの、金魚養殖農家は約46戸、養殖面積約61ヘクタール、年間金魚約5,700匹、錦鯉約4,000匹が生産されています。

また郡山市は、一五八五年豊臣秀長が郡山に入城してから、

その一角に位置する今回の視察先である、「やなぎまち商店街(南北600m、アーケードなし)」は、かつては80店舗が軒を並べる程の繁栄をしてきましたが、徐々に空家や空店舗が目立ちはじめた頃、郡山市に住む若い建築家や学生が歴史ある貴重な遺産である「町屋」を残



金魚が泳ぐ電子レンジ

したい思いから、市並びに所有者の理解を得てみんなで保存と活用していくという事で、町屋の芸術祭や雛祭り等のイベントを開催。さらに商店街では、若手経営者を中心に、大和郡山市の象徴である「金魚」に注目した取り組みとして、金魚の泳ぐ公衆電話や、店頭で金魚の泳ぐ電子レンジ、灯籠、自動販売機など置き、街中のあちこちに金魚スポットがあります。



金魚電話ボックス

また、だれでも体験できる「金魚すくい道場」や、酒屋さんには販売する「金魚ビール」の見本を置くなど取り組みが広がり活気ににぎわいのある商店街へと変身しつつあります。

今回はそういった商店街の前向きな取り組みのお話を聞かせていただきました。

今では、市、商工会、商業者のみならず、市民挙げての街づくりに発展しつつある大和郡山市を一度散策して見ませんか。

(秋山 誠)



平成29年4月から労働保険料が引き下げられました

「雇用保険法等の一部を改正する法律案」が平成29年3月31日に国会で成立しました。
平成29年4月1日から平成30年3月31日までの雇用保険料率は以下のとおりとなります。

事業の種類	負担者	①労働者の負担	②事業主負担		①＋②	
		(失業等給付の保険料率のみ)		失業給付の保険料率	雇用保険二事業の保険料率	雇用保険料率
一般の事業		3/1,000	6/1,000	3/1,000	3/1,000	9/1,000
(28年度)		4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
農林水産・清酒製造の事業		4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
(28年度)		5/1,000	8/1,000	5/1,000	3/1,000	13/1,000
建設の事業		4/1,000	8/1,000	4/1,000	4/1,000	12/1,000
(28年度)		5/1,000	9/1,000	5/1,000	4/1,000	14/1,000

個人型確定拠出年金iDeCo（イデコ）

平成29年1月から、専業主婦、公務員の方を含め、基本的に60歳未満のすべての方が利用できるようになります。

確定拠出年金とは

- ▶ 「確定拠出年金」は、公的年金に上乗せして給付を受ける私的年金のひとつです。基礎年金、厚生年金保険と組み合わせることで、より豊かな老後生活を実現することが可能となります。
- ▶ 確定拠出年金の仕組みは、掛金を定めて事業主や加入者が拠出し、加入者自らが運用し、掛金とその運用益との合計額をもとに給付額が決定されるというもので、事業主が実施する「企業型確定拠出年金」と、個人で加入する「個人型確定拠出年金（iDeCo）」があります。
- ▶ iDeCoの加入者は、これまで自営業者の方などに限られていましたが、平成29年1月からは、企業年金を実施している企業にお勤めの方や公務員、専業主婦の方を含め、基本的にすべての方が加入できるようになります。
加えて、転職したときなどの積立資産の持ち運び（ポータビリティ）も拡充し、より使いやすい仕組みになります。

iDeCoのメリット

掛金が全額控除されます

例えば毎月2万円ずつ掛金を拠出した場合、税率20%とすると、年間4万8千円の節税効果となります。

運用益も非課税で再投資されます

通常、金融商品の運用益には税金（源泉分離課税20.315%）がかかりますが、iDeCoの運用益は非課税です。

受取る時も税制優遇措置があります

iDeCoの老齢給付金を一時金として受取る場合は「退職所得控除」、年金として受取る場合は「公的年金控除」という大きな控除が受けられます。

潮江本町商店街振興組合

理事長 一坂 清二

アミシング潮江商店街振興組合

理事長 濱 尚

JR尼崎駅北側に大正七年に操業開始以来七八年間に亘る「キリンビール尼崎工場」が平成八年に閉鎖、神戸市北区に移転が決定。

尼崎市・都市再生機構はJR尼崎駅北側23ヘクタールの土地画整理事業を進め、産業ゾーン・交流ゾーン・にぎわいゾーン・地域サービス核と居住環境の形成を基本方針に「あまがさき緑遊新都心」のまちづくり・都市基盤整備が進められ、一九九九年（平成十一年）十一月十一日、アミシング潮江がグランドオープン致しました。

JR尼崎駅の北側、潮江地区の再開発事業がようやく完成したのです。



大型店を核にしたアミシング潮江に、近隣・広域から多くの来街者がありました。昔の潮江を知る人からは、町の変貌に驚く声が聞かれました。

その後、バブルの崩壊に伴う景気の低迷に加えて、「あまがさき緑遊新都心」の中核となる複合商業施設として二〇〇九年（平成二十一年）十月に「COCOE（ココエ）」がグランドオープンしました。

「COCOE（ココエ）」は、

（㈱阪急阪神百貨店、㈱平和堂、（株）松竹マルチプレックスシアターズ、セントラルスポーツ（株）を核テナントに専門店137を加えた複合商業施設です。

当然、隣接するアミグ潮江の商業者には、大きな影響がありました。

アミシング潮江がオープンして十七年余、店主の高齢化や後継者不足などで昔からの個人商店が次第に減少し、変わってチェーン店が増えています。幸い空き店舗は少なく、次々と新しい店が出来るのですが、商業組合としての活動は非常に難しくなってきています。

周辺部には、大学・病院・介護付き老人ホームができ、さらにはマンションも次々と建てられ、利便な街として住人は増えつつあります。

当初オープンした「COCOE」もキリンホールディングス株式会社から東急不動産が買収し、「あまがさきキューズモール」として二〇一三年（平成二十五年）十月に再生されました。この地域が、今後どのように



変化してゆくのかわかりませんが、地域としての発展を期待しているとともに、我々地元商業者も協力し、地域貢献に努力してまいりたいと思っております。

潮江本町商店街振興組合
06-6498-5474
アミシング潮江商店街振興組合
06-6494-7010
尼崎市潮江1丁目22-1
尼崎市潮江1丁目21-1